

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	教育指導課長 杉並 伸也
教育-34 特別支援教育事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 教育指導課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針 教育内容・教育環境の充実

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒等
意図	特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図るため。
効果	個に応じた支援の充実を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする児童生徒の就学・進学に関する観察・協議を行うため、就学支援委員会を開催した。 肢体不自由学級児童生徒の送迎バスを運行委託した。 特別支援学級を整備するとともに、学級介助員、スクールアシスタントを配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等の	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数	11,526人	11,501人			
事業の対象者数	11,526人	11,501人			
運営資源状況	当初予算(千円)	90,272	決算値(千円)	81,760	
	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	0	その他	0	
	一般財源	90,272	一般財源	81,760	
事業運営	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	
	人件費(千円)	15,629	人件費(千円)	15,422	
	総事業費(千円)	105,901	総事業費(千円)	97,182	
市民1人当りの経費(円)	597	市民1人当りの経費(円)	548		
対象者1人当りの経費(円)	9,188	対象者1人当りの経費(円)	8,450		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする児童生徒への人的支援にかかる継続的な予算の確保。 特別支援学級設置にあたっての、就学希望状況の把握と転用教室の確保。 就学相談、教育相談希望者が年々増加するとともに、相談内容が多様化・複雑化しているための就学相談者の恒常的な超過勤務。 	
課題解決のために行った平成26年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 就学相談や教育相談を通し、長期的な展望を見据えて適切な助言をすることで就学希望校の把握に努めた。 就学相談が複数回・長時間にわたるため、他業務との調整が必要となる。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする児童生徒への人的支援に係る継続的な予算の確保。 特別支援学級設置にあたっての、就学希望状況の把握と転用教室の確保。特に、未就学児童が特別支援学級を希望する場合の就学希望校の把握。 就学相談、教育相談希望者が年々増加するとともに、相談内容が多様化・複雑化している。 	
効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	今後の市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公 平 性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直し ・人的支援に係る継続的な予算を確保するとともに、特別支援学級設置のための予算確保に努める。 ・就学相談が複数回・長時間にわたるため、他業務との調整をしていく。
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 特別な支援を必要とする児童生徒が増加しており、人的支援の継続的な予算確保が必要であるため。
総評	文部科学省が提唱するインクルーシブ教育を推進するためにも人的支援は不可欠であり、また、支援の必要な児童生徒に対する教育の場を充実することも重要である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スクールアシスタントの小学校全校配置					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
特別な支援を必要とする児童生徒が増えている現状があり、人的支援が必要となっている。	目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0			
	実績値	10.0	13.0							
	達成率	62.5%	81.3%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---